

勢田川流域等浸水対策実行計画

平成30年6月19日

(令和2年11月30日変更)

勢田川流域等浸水対策協議会

伊勢市

三重県

国土交通省三重河川国道事務所

2. 浸水被害軽減対策計画（勢田川、桧尻川）

2.1 計画の目標

浸水被害軽減のため、勢田川、桧尻川流域の河川整備や下水道整備等の考えられる浸水対策を検討し、整備や施策の早期効果の発現や実現性（実施可能時期）等を考慮し、短期・中長期の計画に基づき、関係機関（伊勢市、三重県、国土交通省）が連携してハード・ソフト対策を一体的に取り組む。なお、汁谷川流域に関する浸水被害軽減対策計画は第3章にて述べることとする。

① 短期計画

当面5年程度で、浸水被害の軽減効果が高い対策を集中的に実施する。

- 平成29年10月洪水に対して、勢田川から溢水氾濫を解消する。
- 勢田川・桧尻川流域の床上浸水を軽減する。
- 浸水に備えて、円滑かつ迅速な避難行動をとることができるようにソフト対策を充実させる。

② 中長期計画

概ね20～30年程度で、浸水被害の防止に向けた整備を実施する。

- 昭和28年9月洪水（年超過確率[※]1/30）に対して、浸水被害を解消する。
- 平成29年10月洪水（年超過確率1/100を超える規模）に対して、床上浸水を解消する。
- 計画規模や施設規模を上回る洪水や高潮が発生した場合の被害を軽減するソフト対策についても、関係機関や地域住民等と連携して推進する。

※年超過確率1/●●：毎年、1年間にその規模を超える現象が発生する確率が1/●●であることをいう。

本計画では、高潮と洪水が同時に発生した場合の確率を示している。

2.2 計画の期間

浸水被害軽減対策について、実施する目標期間として以下の2段階の期間を定める。

- ・短期計画（今後5年程度：2018～2022年度）
- ・中長期計画（今後20～30年程度）

表 2-1 浸水被害軽減対策計画メニュー概要（勢田川、桧尻川）

区分	カテゴリ	No.	対象河川(流域)	内容	事業主体	実施する目標期間	
						短期計画 (今後5年程度) 2018～2022年度	中長期計画 (今後20～30年程度)
ハード対策	河川整備	1	勢田川	緊急的な堤防かさ上げ	国土交通省	H30台風期までに完成※2	
		2	勢田川	河道掘削	国土交通省	整備計画対応完了	
		3	勢田川	勢田川排水機場ポンプ増強	国土交通省		整備完了
		4	勢田川	逆流防止フラップ弁設置	伊勢市	H30台風期までに完成※2	
		5	桧尻川	桧尻川排水機場ポンプ増強	国土交通省	整備計画対応完了	
		6	桧尻川(指定区間)	河道掘削	三重県	暫定河道掘削を実施	整備計画対応完了
		7	桧尻川(指定区間)	河川整備	三重県		整備計画対応完了
		8	桧尻川(準用河川)	河川整備	伊勢市		整備計画対応完了
	雨水排水対策	9	勢田川・桧尻川流域	下水道整備	伊勢市	整備計画策定 3排水区整備を集中的に先行実施 黒瀬ポンプ場ポンプ増強	概ね整備完了
		10	勢田川・桧尻川流域	流域における総合治水対策	国土交通省 三重県・伊勢市	総合治水対策の検討	
ソフト対策	11	勢田川	危機管理型水位計の設置	国土交通省	H29年度末に設置済み※1		
	12	勢田川(指定区間・準用河川)	危機管理型水位計の設置	三重県 伊勢市	H30年度末までに完成※2		
	13	勢田川流域	洪水浸水想定区域の指定・公表	国土交通省	H29年度までに指定・公表済み※1		
	13	勢田川(指定区間)流域	洪水浸水想定区域図の作成	三重県	作成完了		
	14	勢田川流域	洪水浸水想定区域の説明会の実施	国土交通省 伊勢市	定期的の実施		
	12	桧尻川(準用河川)	危機管理型水位計の設置	伊勢市	H30年度末までに完成※2		
	15	桧尻川流域	洪水浸水想定区域図の作成	三重県	H30年度末までに作成※2		
	16	桧尻川流域	洪水浸水想定区域の説明会の実施	三重県 伊勢市	定期的の実施		
	17	勢田川・桧尻川流域	ハザードマップの更新	伊勢市	早期に実施		
	18	勢田川・桧尻川流域	防災啓発体制の強化	伊勢市	継続した啓発活動を実施		
	19	勢田川・桧尻川流域	伊勢市防災大学の開催	伊勢市	継続した教育を実施		
	20	勢田川・桧尻川流域	伊勢市防災コーディネーターの認定	伊勢市	継続し意識高揚を図る		
21	勢田川・桧尻川流域	防災教育の強化	国土交通省 三重県・伊勢市	継続した啓発活動を実施			

※1 平成29年度内に完了したメニュー

※2 平成30年度内に完了するメニュー

表 2-2 浸水被害軽減対策計画メニュー概要（勢田川、桧尻川）

■着色部が変更・追加箇所

区分	カテゴリ	No.	対象河川(流域)	内容	事業主体	実施する目標期間	
						短期計画 (今後5年程度) 2018～2022年度	中長期計画 (今後20～30年程度)
ハード対策	河川整備	1	勢田川	緊急的な堤防かさ上げ	国土交通省	H30台風期までに完成※2	
		2	勢田川	河道掘削・堤防かさ上げ	国土交通省	河道掘削・堤防かさ上げを実施	
				河道断面の拡幅	国土交通省	整備計画対応完了	
		3	勢田川	勢田川排水機場ポンプ増強	国土交通省		整備完了
		4	勢田川	逆流防止フラップ弁設置	伊勢市	H30台風期までに完成※2	
		5	桧尻川	桧尻川排水機場ポンプ増強	国土交通省	整備計画対応完了	
		6	桧尻川(指定区間)	河道掘削	三重県	暫定河道掘削を実施	整備計画対応完了
		7	桧尻川(指定区間)	河川整備	三重県		整備計画対応完了
	8	桧尻川(準用河川)	河川整備	伊勢市		整備計画対応完了	
	雨水排水対策	9	勢田川・桧尻川流域	下水道整備	伊勢市	整備計画策定 3排水区整備を集中的に先行実施 黒瀬ポンプ場ポンプ増強	概ね整備完了
10		勢田川・桧尻川流域	流域における総合治水対策	国土交通省 三重県・伊勢市	総合治水対策の検討		
ソフト対策	11	勢田川	危機管理型水位計の設置	国土交通省	H29年度末に設置済み※1		
	12	勢田川(指定区間・準用河川)	危機管理型水位計の設置	三重県 伊勢市	H30年度末までに完成※2		
	13	勢田川流域	洪水浸水想定区域の指定・公表	国土交通省	H29年度末までに指定・公表済み※1		
	13	勢田川(指定区間)流域	洪水浸水想定区域図の作成	三重県	作成完了		
	14	勢田川流域	洪水浸水想定区域の説明会の実施	国土交通省 伊勢市	定期的に実施		
	12	桧尻川(準用河川)	危機管理型水位計の設置	伊勢市	H30年度末までに完成※2		
	15	桧尻川流域	洪水浸水想定区域図の作成	三重県	H30年度末までに作成※2		
	16	桧尻川流域	洪水浸水想定区域の説明会の実施	三重県 伊勢市	定期的に実施		
	17	勢田川・桧尻川流域	ハザードマップの更新	伊勢市	早期に実施		
	18	勢田川・桧尻川流域	防災啓発体制の強化	伊勢市	継続した啓発活動を実施		
	19	勢田川・桧尻川流域	伊勢市防災大学の開催	伊勢市	継続した教育を実施		
	20	勢田川・桧尻川流域	伊勢市防災コーディネーターの認定	伊勢市	継続し意識高揚を図る		
21	勢田川・桧尻川流域	防災教育の強化	国土交通省 三重県・伊勢市	継続した啓発活動を実施			
22	勢田川・桧尻川流域	勢田川浸水状況共有システムの構築	国土交通省 三重県・伊勢市	早期に実施			

※1 平成29年度内に完了したメニュー

※2 平成30年度内に完了するメニュー

2.3 本計画の対策メニュー

2.3.1 ハード対策

(1) 河川整備

① 緊急的な堤防かさ上げ（勢田川） 【短期計画】＜国土交通省＞

平成 29 年 10 月（台風第 21 号）洪水で河川からの氾濫が発生した JR 参宮線勢田川橋梁部付近と北新橋右岸下流において、緊急的に堤防かさ上げを実施する。具体には、既設のガードレールを撤去し、特殊堤防（コンクリートの小型重力式擁壁）を平成 30 年台風期前までに実施する。（北新橋右岸下流地点については、平成 30 年 6 月に整備完了）

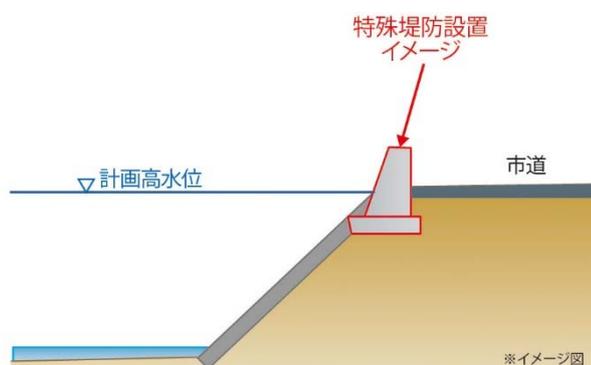


図 2-1 特殊堤防設置イメージ（JR 参宮線橋梁部付近）



図 2-2 特殊堤防設置状況（北新橋右岸下流）

② 河道掘削・堤防かさ上げ（勢田川） 【短期計画】＜国土交通省＞

河川水位を下げるために、河道断面を増やすための掘削を整備効果の高い箇所から順に実施する。また、河道掘削と併せて、~~洪水の流下に著しく障害となっている橋梁について、施設管理者と連携、調整し河道断面の拡幅を実施する。~~堤防のかさ上げを実施する。

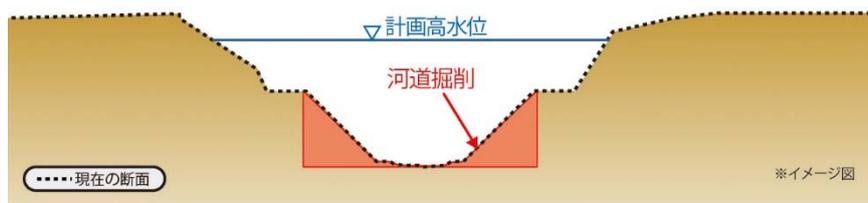


図 2-3 河道掘削イメージ

河道断面の拡幅（勢田川） 【中長期計画】＜国土交通省＞

洪水の流下に著しく障害となっている橋梁について、施設管理者と連携、調整し河道断面の拡幅を実施する。

③ 勢田川排水機場ポンプ増強（勢田川） 【中長期計画】＜国土交通省＞

高潮・洪水による家屋浸水被害の防止のため、下水道整備や河川整備と事業調整を図り、整備の進捗状況を踏まえ、現況排水量 $45\text{m}^3/\text{s}$ から $60\text{m}^3/\text{s}$ 程度にポンプを増強する。なお、排水量については、引き続き検討を行い決定する。

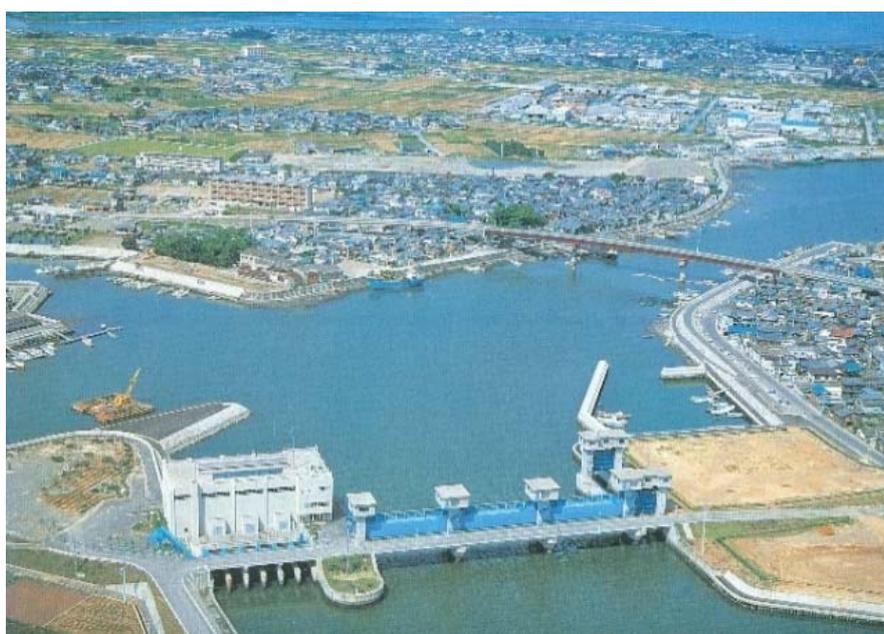


図 2-4 勢田川排水機場ポンプ増強

④ 逆流防止フラップ弁設置（勢田川） 【短期計画】 <伊勢市>

勢田川からの逆流による浸水被害を防ぐために、逆流の可能性がある排水管等について、逆流防止フラップ弁を平成 30 年台風期前に設置する。



図 2-5 逆流防止フラップ弁設置予定の排水管

⑤ 桧尻川排水機場ポンプ増強（桧尻川） 【短期計画】 <国土交通省>

桧尻川の内水による家屋浸水被害の軽減のため、下水道整備、桧尻川（指定区間）の河川改修と事業調整を図り、整備の進捗状況を踏まえ、現況排水量 $11.5\text{m}^3/\text{s}$ から $19.5\text{m}^3/\text{s}$ にポンプを増強する。



図 2-6 桧尻川排水機場ポンプ増強

⑥ 河道掘削（桧尻川（指定区間）） 【短期計画】 <三重県>

河川水位を下げるために、下水道整備、桧尻川排水機場ポンプ増強と事業調整を図り、河道断面を増やすための掘削を実施する。

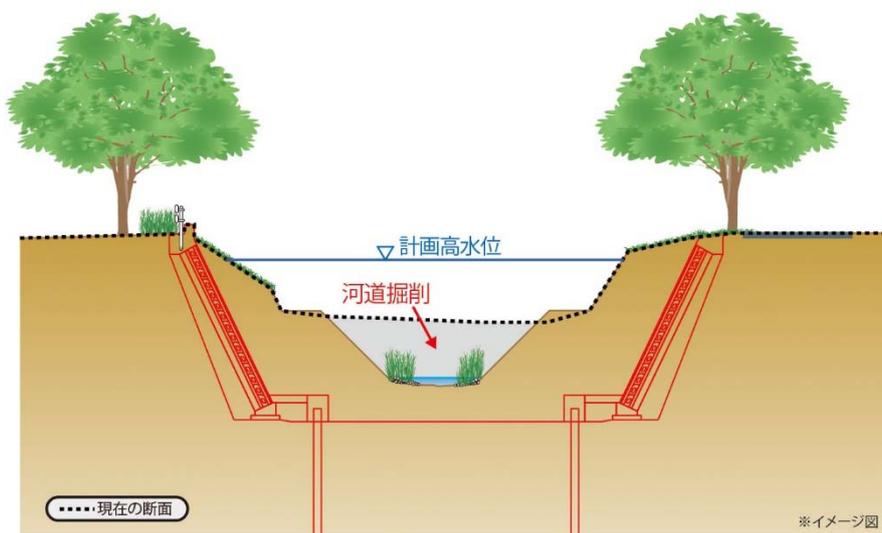


図 2-7 河道断面イメージ

⑦ 河川整備（桧尻川（指定区間）） 【中長期計画】 <三重県>

河川水位を下げるために、河道断面を増やすための掘削と堤防の引き堤等を実施する。

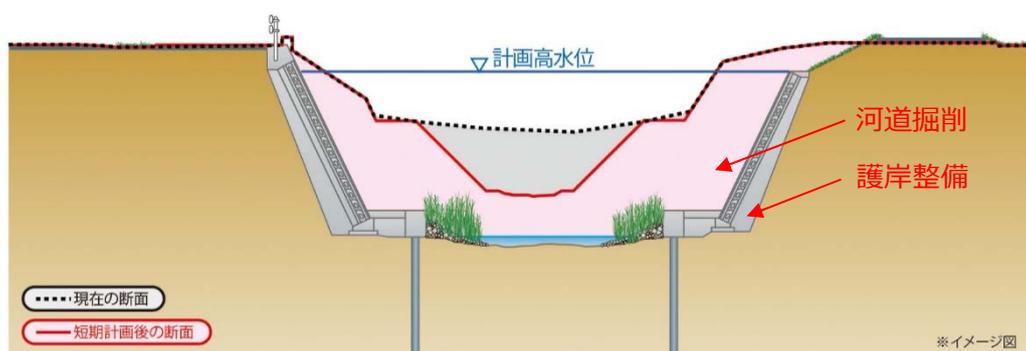


図 2-8 河道断面イメージ

⑧ 河川整備（桧尻川（準用河川）） 【中長期計画】＜伊勢市＞

下流の河川整備に合わせて、河川水位を下げるために、河道断面を増やすための掘削を実施する。

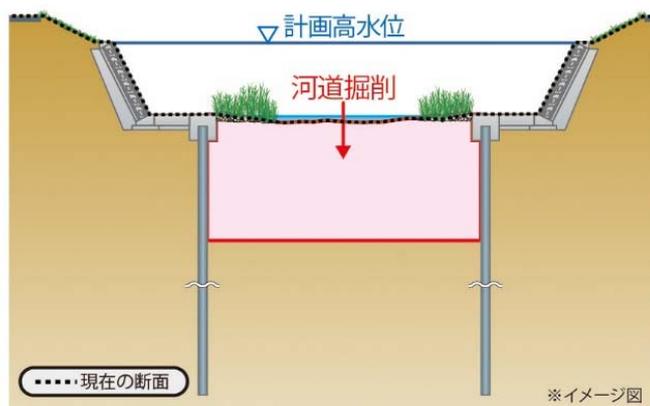


図 2-9 河川改修イメージ

(2) 雨水排水対策

① 下水道整備（勢田川）＜伊勢市＞

【短期計画】

流域関連伊勢市公共下水道計画（年超過確率 1/10、78.1mm/h 対応）に基づき、浸水対策を実施すべき区域や対策目標等を定めた雨水排水施設の整備計画を平成 30 年度中に策定し、事業計画の見直しや事業認可等の手続を行う。

黒瀬ポンプ場については、現況排水量 $12.3 \text{ m}^3/\text{s}$ から $17.7 \text{ m}^3/\text{s}$ にポンプを増強し、また、桧尻川の河川整備にあわせ、桧尻川流域の排水区の排水路整備を実施する。

【中長期計画】

雨水排水施設の整備計画に基づき、桧尻川の河道整備の進捗に合わせた雨水幹線排水路、雨水ポンプ場等の雨水排水施設を整備し、勢田川・桧尻川流域の排水区整備を概ね完了する。



図 2-10 下水道整備イメージ

② 流域における総合治水対策

【短期計画・中長期計画】＜国土交通省・三重県・伊勢市＞

浸水被害の軽減に向けて、河川整備や下水道整備等に加え、各流域の流出抑制に向けた保水機能・遊水機能を確保する対策を検討する。

2.3.2 ソフト対策

ハード対策のみでなく、様々なソフト対策を組み合わせることで、地域住民自らの的確な避難判断・避難行動につなげる。

① 危機管理型水位計の設置（勢田川・桧尻川）

【短期計画】＜国土交通省・三重県・伊勢市＞

河川水位の情報をリアルタイムに把握でき、避難準備等に活用できるように危機管理型水位計を設置する。直轄管理区間（国）では平成 29 年度末に設置済み※である。指定区間（県）、準用河川（市）の水位計の設置位置については、伊勢市、三重県で調整し、平成 30 年度末までに設置する。また、危機管理型水位計運用システムにより、水位情報の提供を行う。

※河川整備の進捗により危機管理型水位計の設置位置は変更となる場合がある



図 2-11 危機管理型水位計（勢田川左岸 4.6k 付近）と運用システムの表示イメージ

② 洪水浸水想定区域の指定・公表等（勢田川・椀尻川） 【短期計画】

＜勢田川：国土交通省・三重県＞＜椀尻川：三重県＞

出水時の水防活動や避難行動等に活用するため、洪水浸水想定区域図を作成する。勢田川については直轄管理区間（国）が平成 29 年度までに洪水浸水想定区域の指定・公表済みであり、指定区間（県）は平成 31 年度末までに作成する。また、指定区間（県）の椀尻川については平成 30 年度末までに作成する。

③ 洪水浸水想定区域の説明会の実施（勢田川・椀尻川） 【短期計画・中長期計画】

＜勢田川：国土交通省・伊勢市＞＜椀尻川：三重県・伊勢市＞

洪水浸水想定区域の説明会およびワークショップを開催し、住民自らの的確な避難判断につなげる。



図 2-12 説明会の実施

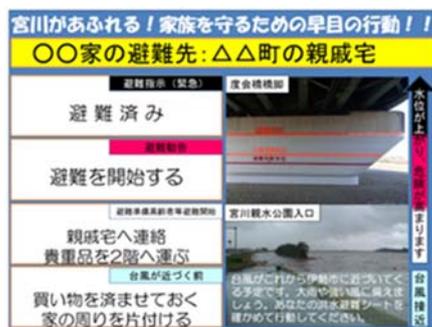


図 2-13 ワークショップ用シート

④ ハザードマップの更新（勢田川・椀尻川） 【短期計画】＜伊勢市＞

直轄管理区間（国）の宮川及び勢田川の洪水浸水想定区域の指定・公表を踏まえ、ハザードマップの更新を行ってきたが、指定区間（県）の洪水浸水想定区域図が作成された場合はハザードマップを更新する。ハザードマップは講習会等での配布や、ホームページ等で公表し、住民自らの的確な避難判断につなげる。



図 2-14 伊勢市防災マップ（ハザードマップ）

- ⑤ **防災啓発体制の強化（勢田川・桧尻川）** 【短期計画・中長期計画】＜伊勢市＞
 平成 29 年度より防災マネージャー及び防災アドバイザーの体制で、市内の自治会やまちづくり協議会において防災講習や防災訓練を実施している。今後は、訓練などの企画・立案にも携わり、地域との連携を強化する。
- ⑥ **伊勢市防災大学の開催（勢田川・桧尻川）** 【短期計画・中長期計画】＜伊勢市＞
 市民の防災知識を深めるため、平成 29 年度より伊勢市防災大学を開催している。防災大学は、専門家や被災体験者などの講師を招いて、講義や非常食調理体験、県外の防災啓発施設見学などを体験できるプログラムを今後も継続して実施する。
- ⑦ **伊勢市防災コーディネーターの認定（勢田川・桧尻川）**【短期計画・中長期計画】
 ＜伊勢市＞
 防災士の資格を持つ市民が伊勢市防災コーディネーターとして、地域で防災講習会やワークショップのスタッフとして参加し、伊勢市とともに市民に対して防災意識の高揚を図っており、今後も継続して実施する。



図 2-15 伊勢市防災大学（写真左）、防災コーディネーター（写真右）

- ⑧ **防災教育の強化（勢田川・桧尻川）** 【短期計画・中長期計画】
 ＜国土交通省・三重県・伊勢市＞
 国土交通省三重河川国道事務所、気象庁津気象台、京都大学、伊勢市、まちづくり協議会などが連携した防災教育を毎年開催し、講習会やワークショップを行い、児童の防災教育を推進する。
- ⑨ **勢田川浸水状況共有システム** 【短期計画】＜国土交通省＞
 洪水等の水防活動・防災業務を支援するために、新技術（簡易浸水センサー等）を活用した勢田川浸水状況共有システムを構築する。